
ボイス

コウ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ボイス

【Nコード】

N4996B

【作者名】

コウ

【あらすじ】

物足りない毎日。当たり前前の様に、時間は過ぎていく。……主人公、和也は物足りない日々を過ごしていた。隣には、そう……和也が最も愛した彼女が居ないから。隣に居ない彼女。そんな中、ひよっこりと最愛の彼女の声が吹き込まれたカセットテープが和也の前に、現れる。！？

【プロローグ】：君の声

『助けて、欲しいの……』

懐かしい、愛しい人の声。

思わず僕は、カセットテープを停止させた。

小さなカセットの中に、愛しい人の声。

「……なんで……」

再生のボタンを恐る恐る押す。

しっかりと両手でテープレコーダーを握り締めながら。

『……真っ暗なの。何も、見えないの。大好きだった和也かずやの顔も、声も届かないの。　　なんでかなあ？　　あたしが、駄目な女だからかなあ』

涙交じりの震える声で、彼女は言う。

涙交じりの声なのに、必死に冷静を装っている彼女が目に見えなくなる。

僕が初めて、愛した人。……弱くて強い、愛しい人。

「……なんで、此処に？　　なんで此処に、こんなもんがあんだ

よっ！」

近くにあったゴミ箱を蹴り飛ばす。

何にあたって、心は晴れないような気がした。

「なんで……っ、何で、此処に！」

体を支える力が、抜けていく。頬を冷たい涙が、通過していた。

『和也』

嗚呼、愛しい彼女の声

『大好き』

僕が初めて、愛した人

……二度と、好きとは言ってくれない……愛しい女^{ひと}。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4996b/>

ボイス

2011年2月3日02時21分発行